厚生労働省 岡山労働局　　Press Release

岡 山 労 働 局 発 表
令和８年 10 月 29 日

報道関係者　各位

【照会先】
岡山労働局　労働基準部　監督課
監　督　課　長　　貞宗　恵治
過重労働特別監督監理官　妹尾　直紀
電話 086－225－2015

働きやすい職場づくりに積極的に取り組む「ベストプラクティス企業」を労働局長が訪問します

令和７年度 介護職員の働きやすい職場環境づくり
厚生労働大臣表彰　奨励賞を受賞！

岡山労働局では、「過重労働解消キャンペーン」の一環として、働きやすい職場づくりや長時間労働削減に積極的に取り組む「ベストプラクティス企業」を訪問します。

当日は、取組内容の視察や意見交換を行い、その優良事例を広く発信します。報道機関の皆様方におかれましては、ぜひ取材くださいますようお願いします。

日　　時：**令和８年 11 月 13 日（金）　午前 10 時 00 分～**
（所要時間：１時間 30 分程度）

訪 問 先：**社会福祉法人津山福祉会　高寿園**
所 在 地：**津山市下高倉西 1581-1**
業　　種：社会福祉・介護事業（特別養護老人ホーム）

「高寿園」の働きやすい職場づくりに向けた主な取組等

① 睡眠センサーやノーリフト等の導入により、夜間の見守りや移乗の身体的負荷を大幅に軽減。利用者の生活リズム改善とケアの質向上を両立。

移乗介助等の作業時間が従来の約３分の１に短縮
（２人介助から１人対応が可能に）

② 24 時間開かれた施設特性を活かした「子育て支援スペース」を地域に開放。子育て世帯との日常的な交流から、その後のパートスタッフ等の採用へつながるなど、地域連携による新たな人材確保のルートを確立。

③ 業務効率化により職員の負担が軽減され、職場定着や有給休暇の取得率向上を達成

- **１人あたり年次有給休暇取得日数：7.8 日 → 9.6 日**に向上
- **夜間の平均訪室回数が、**１夜あたり **6.4 回 → 1.5 回**に大幅減少

別紙

「岡山労働局長によるベストプラクティス企業への職場訪問」の取材にあたって

取材を希望される場合は、直前の開庁日の 11 月 12 日（木）までに、次の担当へ、電話等でご連絡いただければ幸いです。

（担当：岡山労働局労働基準部監督課　妹尾（せのお）、貞宗（さだむね）
TEL:086-225-2015）

（1）午前 10 時までに、社会福祉法人津山福祉会　高寿園へお越しください。
（所在地：津山市下高倉西1581－1）

（2）当日タイムテーブル（予定）

10 時 10 分　出席者紹介ほか
森實 久美子労働局長から挨拶
仁木 則子施設長から説明
意見交換
事業場内の視察
施設長から感想
森實労働局長から所感

11 時15分頃 終了
終了後、ぶら下がり取材可

（3）取材にあたってのご注意

・カメラ撮影は可能です。
・会社内では、社会福祉法人津山福祉会　高寿園の関係者、労働局職員の案内に従って行動願います。

社会福祉法人津山福祉会
高寿園　HP

高寿園　所在地
津山市下高倉西 1581-1

社会福祉法人津山福祉会 特別養護老人ホーム高寿園

介護DXと働き方改革で「介護の質向上」と「職員負担軽減」を両立

特別養護老人ホーム高寿園では、介護ロボットやICT機器の活用、多様な働き方の導入、人材育成の強化に取り組み、介護サービスの質の向上と職員が働きやすい職場環境づくりを実現しています。

人が好きだから
一生けんめい！



https://www.kojuen.jp

法人理念

「時代に即応した施設運営
～人権の尊重と地域福祉の拠点～」

ケア理念

「居心地のよい、笑顔あふれる、私らしい暮らしと、人を支える専門職」

施設長コメント

「介護テクノロジーは人を減らすためではなく、利用者と向き合う時間を増やすためのものです。職員が安心して長く働ける環境を整えることで、利用者の豊かな暮らしにつなげていきたいと考えています。」

【主な表彰・認定一覧】

（年月）	表彰・認定・選定名
2026年度	津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業
2025年12月	全国老人福祉施設大会・研究会議　優秀賞
2025年12月	「くるみん」認定（岡山労働局）
2025年11月	介護職員の働きやすい職場環境づくり 厚生労働大臣表彰 奨励賞
2025年5月	最優秀将来世代応援企業賞
2023年12月	えるぼし認定（岡山労働局）
2023年10月	高年齢者活躍企業コンテスト 特別賞
2022年3月	健康経営優良法人（中小規模法人部門）
2021年	アドバンス企業認定（おかやま子育て応援宣言企業）

社会福祉法人津山福祉会 「高寿園」の取組内容

① 介護ロボット・ICT活用による業務効率化 介護リフト、見守りセンサー、記録システム等を導入し、業務の効率化・標準化を推進。

② 53通りの勤務形態による両立支援「自分の『ハタラク』は自分でつくる」をコンセプトに、多様な働き方を推進。

③ 地域と連携した職場づくり 子育て支援スペースの開放など、地域とのつながりを重視した取組を実施。

④ 介護の質向上と人材定着の実現、介護テクノロジーの活用により創出された時間を利用者支援に充て、介護の質向上と職員定着につなげる。

取り組みの効果

	2020年度	2024年度
1か月あたり 介護職員の総労働時間	8，562時間	7，285時間
1人あたり年次有給休暇取得率	7.8日	9.6日
腰痛を訴える職員の人数	14人	5人
1人1日あたり平均記録作成時間	36．9分	12．4分
1週間あたり平均排泄ケア時間	129.1時間	85.73時間
夜間の平均訪室回数	6.4回	1.5回



介護用リフト
（スタンディングリフト）



子育て支援スペース